

●協働学習  
■同時進行型

実践タイトル ICTを効果的に活用し、教え合い学び合う

本時のねらい

割り付けについて話し合い、よりよい新聞にする。そのために、電子黒板で、見出しの位置と向き、写真・絵の活用など、新聞の割り付けに必要なことを理解できるようにする。児童用のタブレットPCでは、協働学習支援ソフトウェアを活用し、話し合いと編集作業が効率的に進められるようにする。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

発表者の意図を伝えやすくしたり、話し合った内容をそのつど児童一人ひとりがタブレットPCを操作して修正し、確かめさせたりすることで、話し合いの内容を深めさせた。

PC教材

割り付けについて話し合ったことを確かめるため、文字・写真の移動や大きさを変更させ、互いの考えのよさを確認させた。

参考にしてほしいポイント

電子黒板に割り付け例を提示することにより、割り付けのポイントをとらえることができた。また、協働学習支援ソフトウェアの編集機能を活用することにより、校正したことをすぐに確かめられるので、友だちのよいところを生かそうとする気持ちにつながった。さらに、教師用PCを使って、各班の編集された新聞を提示することで、それぞれのよさを知ることができた。

学習の流れ(分)	主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等	
本時の展開	0 導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の学習を思い出し、本時の学習課題をつかむ。</li> <li>○編集会議の内容と進め方について知る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の割り付けを完成させるためのポイント</li> <li>・よりよい割り付け</li> <li>・司会者が編集会議の司会を行い、意見を出し合う</li> <li>・話し合いから、割り付けを比べたり変えたりして、よりよい新聞にしていこう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板</li> <li>・実物投影機能（実際に新聞を提示することで、具体的な割り付け例について示し、考えるためのモデルとする）</li> <li>・タブレットPC</li> <li>・協働学習支援ソフトウェア</li> </ul> （画面の向きを変えられることや、考えながら簡単な操作で割り付けが変えられることなどを生かして、話し合いを進めていくように伝える）（写真1）
	13 展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○編集会議を行い、よりよい割り付けになるように話し合う。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の割り付け案の発表</li> <li>・基にする割り付け案決め</li> <li>・よりよい割り付けになるように話し合いながらの編集作業</li> <li>・割り付けが完成したら、編集会議チェックシートで見落としがないかの確認</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットPC</li> <li>・協働学習支援ソフトウェア</li> </ul> （発表する時には、タブレットPCの画面を縦向きに持ってグループのメンバーによく見えるようにさせる）（写真2）
	30 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○編集会議の報告を行い、本時のまとめをする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会者による編集会議の報告</li> <li>・次時の予告を聞く</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板</li> <li>・協働学習支援ソフトウェア</li> <li>・教師用PC（各班の新聞を提示する）（写真3）</li> </ul>



写真1：よりよい割り付けについて説明を聞く



写真2：自分の考えた割り付けを発表する



写真3：各班の新聞の割り付けを提示する

児童生徒の反応

電子黒板やタブレットPCを使い始めて1年近くになり、ICTスキルを高める学習も行っているため、ペン入力や図形の取り込みをしたりする能力は身に付けている。タブレットPCで協働学習支援ソフトウェアを活用することにより、見出しをよく目立つようにしたり、割り付けを工夫したり、読みやすい新聞を作るという目標に向かって、自分の考えで簡単に編集することができた。

活用効果

評価の観点	国語への関心・意欲・態度
具体的変容	電子黒板の実物投影機能を使って子ども向けの新聞記事を提示することで、見出しや本文、図や絵が読みやすく配置されていることをとらえることができた。また、タブレットPCには、協働学習支援ソフトウェアを使用したことで、文字の大きさを変えると絵の大きさも変えられるという編集機能のよさや、ローマ字入力の便利さを感じ、意欲的に取り組むことができた。コンピュータ使用に対する満足感を感じていた。

実践の手応え

一つのタブレットPCを囲んで、意見を出してそのつど変更し確かめてみるという活動により、自然と意見を交わし合い、話し合いながらよりよいものにしていくことができた。最初から最後まで、意欲的に取り組むことができた。考えや工夫が生かされた新聞ができあがり、児童は達成感を持つことができたと思う。